

## 小学生向け出前実験

2019年12月10日(火)の午後から、2年普通科理系の生徒が益田小学校、吉田小学校、高津小学校に訪問し、小学6年生を対象に出前実験を実施しました。

初めに全体実験として、「水素爆発」と「雲をつくろう」を披露した後、7つのブースに分かれ実験を行いました。今回はスライム作り、信号反応、高分子吸収材の実験、味覚実験・発光実験、視覚実験、大気圧の実験、静電気の実験を用意しました。事前準備として小学生が理解できるように、できるだけ簡単な言葉で説明ができるようにしたり、その補助資料として分かりやすいポスターをつくったりしました。それでも、やはり準備不足を感じた生徒もあり、事前の準備の大切さを改めて感じたようです。

当日は小学生にパワーをもらいながら、自分たちの実験を進めていきました。同じ説明を7回繰り返す中で、少しずつアレンジを加えながら、回数を重ねるごとに余裕も生まれ、小学生との掛け合いを楽しむ姿が見られました。これを自分たちの進路選択の一助にしてもらえればと思います。



### <小学生の感想から>

○水素爆発で思った以上に大きな音がしてびっくりしたけど、あの実験をやってみたいと思いました。スライムも家でもつくってみたいです。

○私は将来、益田高校に入って、理科や数学を学びたいと思っています。高校生がすごく優しく話してくださって私もそんな高校生になりたいと思いました。

### <高校生の感想から>

○普段は教えられる立場だが、今回は教える立場で、自分が伝えたい内容をどうすれば伝わりやすいか、理科に興味を持ってもらうにはどのような情報を伝えれば良いか考え、説明することは難しかった。

○しっかりと準備して臨むことができた。ポスターも最大限に絵や問いを取り入れることができた。質問に対しても事前に調べておいたので、分かりやすく答えることができた。「小学生に分かりやすく」をテーマにやったきたが、上手くいったと思う。